

進化し続ける企業

取材・文 若槻愛子

“飽くなき挑戦”

田島代表の機敏な経営

半導体ウエハー容器の全自动洗浄装置の設計・製造・販売で世界シェアNo・1を誇る株式会社コンタクトは、昨年8月、将来性のある若い企業として日本経済新聞に掲載されました。2003年の創業時からどのようにして成長を遂げたのでしょうか。

創業前、産業用生産設備メーカーで取締役営業部長をしていた田島敏行代表取締役は、お客様の話から、今は容器の高度な洗浄は需要がないけれど近い将来必ず必要になると直感し、起業を決意しました。この確信はあたり、ゲーム機の大手メーカーからの採用がきっかけ



本社の社員の皆さん。



研究開発センターの社員の皆さん。

で国内のほとんどのメーカーで起用され、次々とシェアを拡大していました。実にスピードで大胆な展開でしたが、決定までのプロセスでは、各部門の責任者と議論を重ね、バックアッププランを立て、熟慮して下した決断に基づいて実行しています。「どんなに優れた製品でも機を失うと価値がない」という想いが、田島敏行代表の行動に現れています。

「挑戦してほしい! 今はスキルがなくても勉強すれば必ず自分のものになる。常にチャレンジして、みずから多くのものをつかみ取ってください!」



と思い、専門学校で物理学や数学や電子工学を一生懸命学びます。田島代表のお父様は「せっかく学ぶならしっかり勉強しなさい」と勉強に専念できる環境を整えてくれました。当時、会社経営していた父の姿はやがて田島代表の目指す存在となっていました。田島代表は、時にはライバルでもあり、経営の恩師でもあった父をとても尊敬していたそうです。

完成形にならないことが大切

常に向上心を持ち続けるというのは田島代表の信念です。世界No・1のシェアを維持している当

みんながやりがいを持つ職場

当社は、通常の部門ごとの会議とは別に、発言しやすい環境づくりのために、ピザミーティングなど食事をしながらのざっくりばらんな会議を定期的に実施しています。また、違う角度での人間性が出てくるので、花見・バーベキュー・ボーリング大会などの交流の機会を大切にし、社員から企画が上がるところ費用をバックアップしています。

費用をバッカアップしているのも女性が積極的に活躍しているのもなっています。そして、取得後は、社員みずから申し出で、部門長の裏議が通れば、資格取得にかかる費用は全額会社が負担することになっています。

資格手当として給与や賞与に反映させています。「社員は実務を学びながらスキルアップでき、会社にとってはそれが利益につながるのだからお互いハッピーだ」と田島社長はおっしゃいます。



セミコン・ジャパン 2012 の様子。

社ですが、核となる半導体機器が横展開を目指し、常に最先端でグローバルに通用する会社でいられるよう研究開発を進めています。お客様に対しては、とことん顧客ニーズに応えた装置の能力と品質を提供し、さらに納期を早めるコストを下げるといったプラスαの付加価値を付けることにこだわります。社員に対しても、絶えず勉強する姿勢を保つために資格やテストを定期的に受験させるという仕掛けを会社としてもうけています。また、個々のスキルアップが会社全体の力を底上げすると田島代表は考えていましたので、所属している部署の専門知識や語学習得のための教育訓練については、

学生へのメッセージ

「挑戦してほしい! 今はスキルがなくても勉強すれば必ず自分のものになる。常にチャレンジして、みずから多くのものをつかみ取ってください!」



洗浄装置の操作の様子

株式会社コンタクト
神奈川県相模原市中央区上溝 2259-3
TEL 042-777-0299 FAX 042-777-0297
<http://www.e-contact.co.jp>